

SDGsは、2015年の国連総会で採択された、2030年を達成期限とする17の目標と具体的なターゲットのことで、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に発展させて、「誰一人取り残さない」世界を目指しています。

デジタルでつなぐ地域の絆

◆開発本町自治会 林 健次さん（前自治会長、現相談役）

電子回覧板アプリの「結ネット」を昨年から導入しています。これまで回覧板で案内していた情報をスマートフォンやタブレットで確認できるほか、獅子舞や農園の植え付けなどの町内のニュースが、写真や動画と一緒に見ることができます。現在は、町民の約8割の方に利用いただいており、家族だけでなく、町内の皆さんで共通の話題を持つことができるようになつたと好評をいただいているです。

**農業は最強の『のびしろ』**

◆clover farm 代表 青沼 光さん

**交流と挑戦のプラットフォームに**

◆高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」

**募集中！**

**たかおか
SDGs
パートナー**

出前講座を行っています

SDGsを通じて高岡の地域課題解決に向け、連携して取り組んでいただけの企業・団体などを募集しています。登録要件や申請方法など、詳細は市ホームページをご覧ください。

市HP

**たかおかSDGs
パートナーを募集しています**

市HP

「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指して わたしたちにもできる SDGs

問企画課 TEL 20-1101 FAX 20-1670

高岡をより良くするための取り組みは、SDGsの達成にも繋がります。一人ひとりの取り組みは小さくとも、皆さんの取り組みが積み重ねれば、地域をよりよくする大きな力となります。2030年を期限としたSDGsも今年の7月に折り返しを迎え、後半戦に入りました。SDGsの取り組みを通じ、「持続可能な未来都市 高岡」の実現を目指しましょう。

今月は、自分たちのまちの未来を自らの手で創る活動をされている、市内の皆さんの取り組みを紹介します。

**高岡が変われば世界も変わる**

の国連総会で採択された、2030年を達成期限とする17の目標と具体的なターゲットのことで、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に発展させて、「誰一人取り残さない」世界を目指しています。

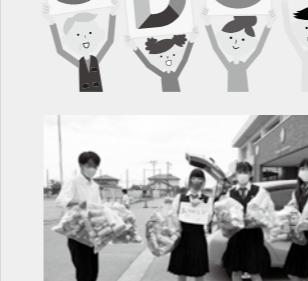
未来を変えるために、自ら行動すること**【宮腰さん】**

当初、SDGsは難しいイメージがありました。SDGs以外にも、自分の将来に役立つことができないなって思います。

【関さん】

今回のライブは、地域の皆さんに環境問題に興味を持つきっかけにしてもらうために開催しました。また、このアイデアを発生させた電気でシニア向けコミュニティバスを運行する解

決策を発表し、優秀賞を受賞しました。また、このアイデアを基に、地元ベンチャー企業と一緒に協力して、みんなで守つていけるといいなと思います。



地元小学校と連携して回収したアルミ缶を運ぶ4人



SDGsは、2015年の国連総会で採択された、2030年を達成期限とする17の目標と具体的なターゲットのことで、経済・社会・環境の3つの側面を統合的に発展させて、「誰一人取り残さない」世界を目指しています。



音楽のライブも開催しました。当日は発電の仕組みを紹介し、皆さんに 관심を持って聞いていたただくことができました。

私たちが今回経験したような地元での楽しい思い出があれば、他の人たちにも将来、就職や家庭を持つときに子供たちにも経験させたいなって思ってもらえたと思います。私自身、地元に

感じたかたかさがとても好きで、若い人たちがなぜ地元に帰つてこないのかが不思議に思うくらい笑。若い世代へのアプローチや、どうしたらまた戻つてももらえるかを、同じ世代の私たちが考えていくことも必要ではないかと思っています。

【高瀬さん】

私たちが今回経験したような地元での楽しい思い出があれば、他の人たちにも将来、就職や家庭を持つときに子供たちにも経験させたいなって思つてもらえたと思います。私自身、地元に感じたかたかさがとても好きで、若い人たちがなぜ地元に帰つてこないのかが不思議に思うくらい笑。若い世代へのアプローチや、どうしたらまた戻つてももらえるかを、同じ世代の私たちが考えていくことも必要ではないかと思っています。

私たちが今回経験したような地元での楽しい思い出があれば、他の人たちにも将来、就職や家庭を持つときに子供たちにも経験させたいなって思つてもらえたと思います。私自身、地元に

感じたかたかさがとても好きで、若い人たちがなぜ地元に帰つてこないのかが不思議に思うくらい笑。若い世代へのアプローチや、どうしたらまた戻つてももらえるかを、同じ世代の私たちが考えていくことも必要ではないかと思っています。

私たちが今回経験したような地元での楽しい思い出があれば、他の人たちにも将来、就職や家庭を持つときに子供たちにも経験させたいなって思つてもらえたと思います。私自身、地元に